■特別活動の目標

集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を発揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次のとおり資質・能力を育成することを目指す。

- (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- (2)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及 び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を 図ろうとする態度を養う。

■特別活動の特質に応じた見方・考え方

集団や社会の形成者としての見方・考え方とは、各教科等の見方・考え方を総合的に働かせながら、自己及び集団や社会の問題を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現に向けた実践に結び付けること。

■高知県が目指す授業づくりのコンセプト

〇特別活動における「学びを変える」とは

児童自らが考え、高めていくような自主的、実践的な活動を通して資質・能力を育て伸ばしていくようにすることです。そのためには、各活動・学校行事の特質に応じた適切な学習過程を経た指導が大切です。

○特別活動における「学びをつなげる」とは

学校における集団活動や体験的な活動を通して、各教科等で身に付けた力を、実際の生活において生きて働く汎用的な力にしていくようにすることです。そのためには、特別活動の内容が、各教科等に広く関わるものであることとや、こうした特徴をもつ特別活動だからこそ育成することができる資質・能力を育むということを意識することが大切です。

〇特別活動における「学びを高める」とは

各活動・学校行事の学習過程において、授業や指導の工夫改善を行うことで、一連の学習過程の中での質の高い学びを実現することです。そのためには、特別活動で重視される「実践」を、単に行動の場面と狭く捉えるのではなく、課題の設定から振り返りまでの一連の活動として捉えることが大切です。

■特別活動の特質に応じて、効果的な学習展開ができるように配慮すべき内容

〇指導内容の特質に応じた活動の展開

特別活動における指導内容は、「学級活動(1)、児童会活動、クラブ活動」と「学級活動(2)、学級活動(3)、学校行事」の2つに大別されます。前者は、特別活動のすべての内容に共通している「自主的、実践的」であることに加えて、「自発的、自治的な活動」であり、目的をもって編制された集団において、児童が自ら課題等を見いだし、その解決方法などについての合意形成を図り、協力して目標を達成していくものです。これに対して、後者は、教師の指導を中心とした児童の自主的、実践的活動を特質とする内容です。

それぞれにおいて、特質に応じた学習過程があり、それらを踏まえた指導が求められます。

〇「話合い活動」の重視

特別活動は多様な他者との様々な集団活動を行うことを基本とし、全ての活動の中心に「話合い活動」を置いています。学級や学校における集団や自己の生活上の課題を見いだし、解決するために合意形成を図ったり、意思決定したりする中で、話合いを通して他者の様々な意見に触れ、自分の考えを広げたり、課題について多面的・多角的に考えたりすることが重要です。

〇キャリア教育の要としての役割

特別活動は、学校の教育活動全体を通して行うキャリア教育の要としての役割を担っています。特別活動の特質を踏まえ、どのようにキャリア教育を行うのか創意工夫し、各教科等における学習等との関連を図って指導することが大切です。

内容

学級活動(3) について

個々の児童の将来に向けた自己実現に関わるものであり、一人一人の主体的な意思決定に基づく実践にまでつなげることをねらいとしている。

ここで扱う活動内容は、児童の現在及び将来の生き方を考える基盤になるものであり、学校の教育活動全体を通して行うキャリア教育や個に応じた指導、支援、相談等との関連を図ることが大切で ある。

ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成

○学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとす るとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよ りよくしようとすること。

イ 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解

○清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働する ことの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要 となることについて主体的に考えて行動すること。

ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用

題材「進んで取り組む自主学習」

〇学ぶことの意義や現在及び将来の学習と自己実現とのつながりを考えたり、自 主的に学習する場としての学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通し を立て、振り返ること。

高学年 における三つの柱の資質・能力

※下線部は発達の段階に留意する部分

学びに向かう力、人間性等

現在及び将来にわたってよりよく生きるために、見通しをもっ たり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働し て、自己実現に向けて自主的に行動しようとする態度。

知識及び技能

希望や目標をもつこと、働 くことや学ぶことの意義を 理解し、自己のよさを生かし ながら将来への見通しをも ち、自己実現を図るために必 要な知識や行動の仕方を身 に付けること。

思考力、判断力、表現力等

希望や目標をもつこと、働くこ とや学ぶことについて、よりよく 生きるための課題を認識し、解決 方法などについて話し合い、自分 に合った解決方法を意思決定し て実践すること。

育成すべき資質・能力の重要な視点

人間関係形成

違いを認め合い、み んなと共に生きてい く力を育てる。

社会参画

よりよい集団や社 会をつくろうとす る力を育てる。

自己実現

なりたい自分に向 けて頑張る力を育 てる。

●家庭学習に関するアンケー トに記入することを通して、 現在の家庭学習の状況を振 り返り、問題意識を高める。

事前の活動

Point 問題意識を高める

• アンケート項目は、将来の 夢、学習時間、学習内容、頑 張っていることや工夫して いること、困っていること、 日標とする家庭学習内容な どとする。

資質・能力を身に付けるための自主的、実践的活動例

第6学年「ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用」

本時の活動(つかむ、さぐる、見つける、決める)

Point みんなで話し合い、協力して個々の意思決定へ

つかむ(課題の把握)

- ●家庭学習の意義や必要性について理解する。
- ●アンケート結果を知り、家庭学習について話し合う。

さぐる(原因の追求、可能性への気付き)

- ●自分の夢や将来のために必要な学習について考える。
- 「家庭学習の手引き」や「みらいスイッチ(高知県教育委員会 2019年3月)」 などを活用する。

見つける(解決方法等の話合い)

- ●自分が実現したい家庭学習の姿について話し合う。
- ●家庭学習について、継続して取り組む難しさや悩みなどを話し合い、 アドバイスし合う。
- 自分の家庭学習時間や内容、家庭学習に取り組む態度について振り 返り、見直すことができるようにする。

決める(個人目標の意思決定)

- ●本時を振り返り、今後の家庭学習についてのめあてを意思決定する。
- 「がんばりカード」等にめあてを記入させる。

事後の活動

Point 目標実現への意欲を高める

- ●意思決定したことを努力して 実践する。
- ●実践を定期的に振り返る。
- ・まずは1週間後の帰りの会で、 「がんばりカード」等を基に、 自身の実践を振り返ったり、互 いに努力したことや工夫した ことについて認め合ったりす ることで実践の継続や新たな 課題の発見につなげる。
- ・努力の結果だけでなく、目標実 現に向けた児童の活動の経過 を見取り、励ますようにする。
- 児童自身が自分の成長を感じ ることができるようにする。

高学年 における指導の重点

- ◆意思決定したことに粘り強く取り組み、努力してやり遂げた達 成感を味わえるようにする。
- ◆自分の役割や責任、自他のよさを考え、友達と高め合って取り 組めるようにする。
- ◆学習の見通しや振り返りの大切さ、適切な情報の収集や活用の 仕方について考え、主体的に学習できるようにする。

◆本時のねらい

今の学習が将来につながる ことについて理解し、進んで自 主的な学習に取り組むことが できるようにする。

見方・考え方を働かせている子供の姿の例

資料や友達の考えと比較したり、自らが理想とする姿を将来と結び付け たりしながら現在の家庭学習の課題を多面的に見つけようとする姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

資料等を活用しながら家庭学習の意義やよさについての話合いをさせ、 1か月後や1年後にどのような取組ができるようになっているとよい かを、一人一人に考えさせる。

解決方法の話

- ◆経験をもとにして自分の考え を話している。
- ◆自分の実態と照らし合わせて 解決方法を選んでいる。
- _ ◆友達のよいところを取り入れ ながら意思決定しようとして 字年】 いる。
- ◆多様な意見を積極的に生か し、今までの経験を振り返る ことで、自分のよさを生かし て意思決定している。
- ◆多様な意見をもとに、効果的 な意思決定ができている。 · 学 校】

合い・決定の場 面における資 質・能力の系統